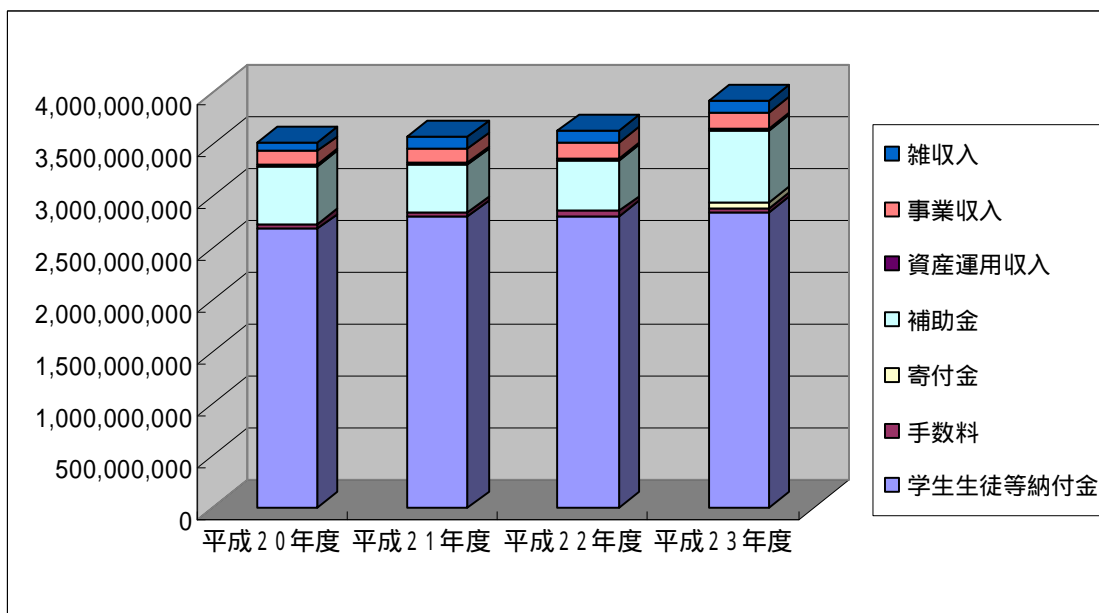


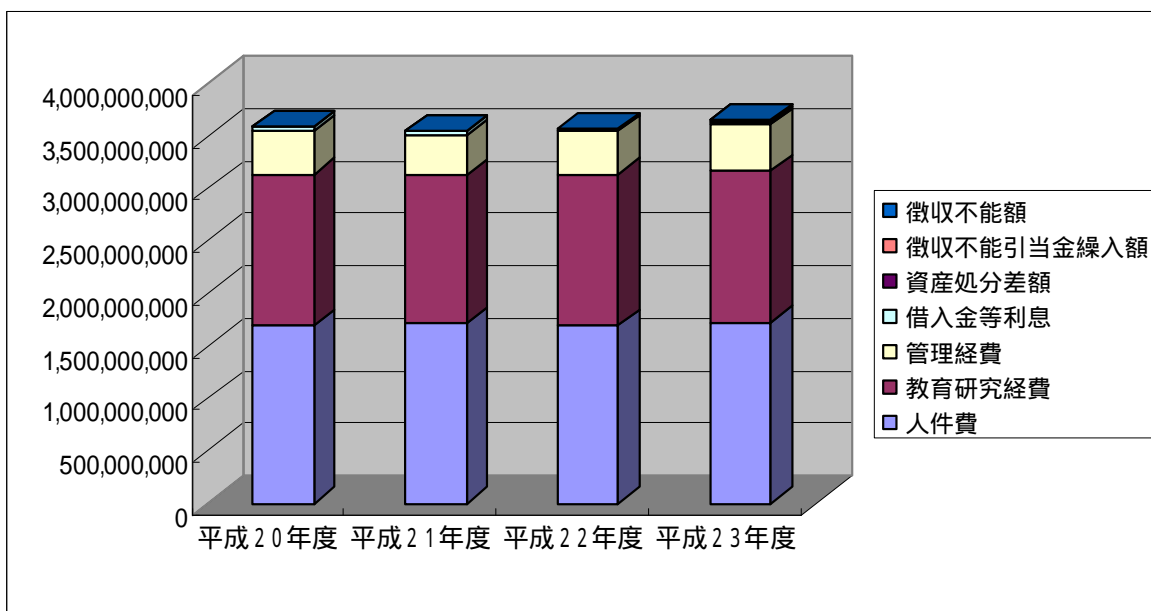
4-(2)- 平成23年度 財務の概要

1) 概況

平成23年度決算では帰属収入が3,917百万円となり、昨年度の3,630百万円から287百万円の増加となりました。これは主に授業料の収入増と国庫補助金の増加によるものです。収入の主となる授業料収入は、入学者数が順調に推移しているため、増加を続けています。



一方、消費支出は3,655百万円で、昨年度の3,568百万円から87百万円の増加となりました。これは主に東日本大震災学費減免による奨学費の増加によるものです。帰属収支差額はプラス262百万円で、昨年に引き続きプラスとなっています。



2) 資金収支計算書

収入の部、支出の部合計は予算額より4百万円増の5,552百万円となっています。

収入の部では、学生数及び授業料の全額納入者の増加による前受金155百万円の増加が主な収入増加原因です。結果として、次年度繰越支払資金が予算額より394百万円増となっています。

支出の部では、東日本大震災の学費減免措置に係る奨学費支出が100百万円、耐震改修工事費が262百万円となっておりますが、全学的に支出の抑制に取り組んだ結果、4百万円増に抑えることができました。

3) 消費収支計算書

当年度消費支出超過額は予算に対して減少しています。これは消費支出が予算に比べて抑制できたことが原因です。

4) 貸借対照表

負債の部は長期借入金の返済が順調に進んでおりますが、平成23年度末に日本私立学校振興・共済事業団より「災害復旧経営資金」300百万円の借入を行ったため、平成22年度より175百万円増加しました。

平成20年度に導入したBEMS設備のリース未払金及び平成22年度に更新した教育用機器のリース未払いについても順調に支払いが進んでおり、前受金を除いた負債率14.2%と、昨年度より0.2ポイント減少しています。

資産の部はデザイン工学実習棟Bの耐震改修工事、教職員会館の改修工事、映写室整備工事などにより、固定資産が増加し、資産の部合計は昨年度より287百万円増加の15,718百万円となっています。